

## 令和元年度第7回教育研究評議会議事要旨

日時	令和元年11月15日(金) 16時04分～17時02分
場所	大学本部2階大会議室
出席者	学長, 渡理事, 山下理事, 寺本理事, 中村人文・社会科学域長, 豊田自然科学域長, 板橋教育学系長, 小坂芸術学系長, 山下医療系長, 小林農学系長, 早瀬全学教育機構長, 山崎附属図書館長, 甲斐評議員, 荒木評議員, 岩本評議員, 青木評議員, 後藤評議員, 一色評議員
欠席者	末岡医学域長, 高椋総合分析実験センター長
陪席者	佐々木監事, 山崎事務局長

### ○ 審議事項

#### 1. 審議事項

#### 2. 審議事項

#### 3. 「佐賀大学学生の性別違和を理由とする通称名等使用の取扱いに関する要項について

山下理事から、本件について、性同一性障害による通称名の使用を認める大学が30数校にのぼっており、本学においても学生からの要望がある場合に対応する必要があるため、要項を制定する旨の説明があり、次いで、学生生活課長から、九州大学等を参考に作成した要項(案)、通称名等使用の申出の手続き及び申出書等の様式について補足説明があり、審議の結果了承された。

芸術学系長から、医師の診断書又は意見書を提出してもらうことになっているが、医師にかかること自体に苦痛を伴う場合等も想定される旨の発言があり、学長から、診断が困難であることも把握しているが、現段階では判断根拠として必要である旨の説明があった。

人文・社会科学域長から、通称名等使用学生の関係教員への周知について確認があり、学長から、具体的な周知方法については検討予定である旨の説明があった。

人文・社会科学域長から、学生へは入学前から案内を行うか確認があり、学長から、学生便覧への記載等検討する旨の発言があった。

岩本評議員から、性別違和等についてダイバーシティ推進室が専門と考えられるが、これまでの審議への陪席等での関わりの有無の確認及び教職員にも関わる問題として、全学的な対応を検討してほしい旨の発言があり、学長から、検討WGにはダイバーシティの教員がいた旨の説明があった。

岩本評議員から、誓約書の文言について発言があり、学長から、修正を検討する旨の発言があった。

甲斐評議員から、要項(案)第4の文言について発言があり、学長から、修正を検討する旨の説明があった。

#### 4. 「佐賀大学教育委員会規則」及び「佐賀大学学生委員会規則」の一部改正について

山下理事から、本件について、医学部, 理工学部, 農学部の教員で構成されて

いる先進健康科学研究科の設置に伴い、委員会へ参画いただくため、学部等からの委員選出と同様に各研究科の委員についても原則2名選出するが、学部等の委員を兼ねることができるものとする等の所要の改正を行う旨の説明があり、審議の結果了承された。

5. その他  
特になし。

○ 報告事項

1. 全学委員会等の審議状況報告について  
渡理事から、拡大役員懇談会において、「佐賀大学中長期ビジョン策定に向けて」についてディスカッションした旨の報告があった。

2. その他  
特になし。

○ 審議事項（非公開）

以上